

平成 26 年 6 月 24 日  
株式会社 講談社

第 9 回小説現代長編新人賞受賞作決定のお知らせ

拝啓

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨日の選考会（選考委員・石田衣良氏 伊集院静氏 角田光代氏 花村萬月氏）におきまして第 9 回小説現代長編新人賞受賞作が決定いたしましたので、お知らせいたします。

また、贈呈式は、10 月 23 日（木）講談社 26 F レセプションルームを予定しております。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

\*受賞作 『三皇の琴 天地を鳴動さす』

(さんこうのきん てんちをめいどうさす)

\*著者名 小島 環 (こじま たまき)

著者略歴及び受賞作梗概は別紙にてお送りいたします。

受賞作抄録は、「小説現代」12 月号に掲載予定です。

また、単行本は、小説現代出版部より、来年 1 月に刊行される予定です。

●過去の受賞一覧

第一回	受賞者 ヴァンシー章絵	ワーホリ任侠伝
	奨励賞 中路啓太	火ノ児の剣―新井白石斬奸録
第二回	受賞者 田牧大和	花合せ―濱次お役者双六―
	奨励賞 火田良子	東京駅之介
第三回	受賞者 斎樹真琴	地獄番 鬼蜘蛛日誌
	奨励賞 朝井まかて	実さえ花さえ、その葉さえ
第四回	受賞者 加藤元	山姫抄
第五回	受賞者 塩田武士	盤上のアルファ
	奨励賞 吉川永青(ながはる)	我が糸は誰を操る
第六回(この回はダブル受賞です)	受賞者 長浦 京	赤刃
	受賞賞 吉村龍一	焰火
第七回	受賞者 仁志耕一郎	玉兔の望
	奨励賞 朝倉宏景(ひろかげ)	白球と爆弾
第八回	受賞者 中澤日菜子	柿の木、枇杷も木

平成 26 年 6 月 24 日  
株式会社 講談社

## \*受賞作：『三皇の琴 天地を鳴動さす』梗概

(さんこうのきん てんちをめいどうさす)

春秋末期の衛国（えいこく）。小柄な十五歳の少年・小旋風（しょうせんふう）は、盗掘を生業とする養父に育てられ、稼業の手伝いをさせられていた。

小旋風はこの仕事を嫌っていた。

あるとき墳墓の棺の中から華麗な琴を発見する。しかし、そのさなか落盤事故で養父が死んでしまう。

養父を失い、自由の身となった小旋風は、この琴を売って新しい仕事をしようと決めた。

その夜、小旋風の前に幽鬼のような女があらわれる。墳墓を荒らした祟りかと小旋風は琴を抱えて衛国の首都へと逃げた。

琴を売ろうと小旋風は骨董収集家に持ち込んでみたが、足下を見られ、相手の提示した金額はわずかなものだった。

己の価値の低さを痛感した小旋風は、「琴の値段を極限まで高め、富豪から大金を得る。自分の真価を試す」と誓う。一計を案じ「伏羲（ふっき）の琴」と

いう伝説でちり上げ、琴好きの将軍に売り込もうとするが。

自分自身の唯一の武器である言葉だけで世を渡り、小旋風は大金を手にすることができるのか――。

中国文学への深い理解と読む者を引き込む文章、選考委員各氏を「面白く読まされた」と唸らせた作品として、今回の受賞となりました。

## \*著者名 小島 環（こじま たまき）

1985年生まれ。

愛知県名古屋市出身。

愛知県立大学外国語学部中国語学科卒業。